

## 【研修 I】 「 県立学校における学校事務について 」

研修 I では、香川県公立高等学校事務職員協会 会長 加地 浩幸様を講師にお迎えし、「県立学校における学校事務について」 ご講話いただきました。

まず、加地様の略歴についてご紹介いただきました。平成2年の採用から、現在勤務されている多度津高等学校に至るまでの経歴や、知事部局での担当業務、事務職員協会での役職について詳しくお話しいただきました。

続いて、県立学校事務職員の職務内容についてご説明いただきました。職務内容で大きなものには会計処理、



施設・設備・備品管理があり、文書処理、窓口業務に加え、各種調査業務も行うそうです。会計処理では、公会計の収入（授業料、生產品、財産使用料、寄附、助成金など）、支出（給与、報償、報酬、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、工事請負費など）について丁寧にご説明いただきました。特に、収入には小中学校には馴染みのない「生產品」という費目があることや、県立学校では数千万円規模の工事を学校で執行することが多く、入札から業者との打ち合わせ、現場監督まで事務職員が担っていることを知り、その業務の規模の大きさに驚きました。また、私会計には学校徴収金、学校指定物品、学校委任会計などがあり、その管理も重要な業務の一つであるとのことでした。その他、事務部長の職務として、管理職との打合せや入試管理委員会、学校徴収金運営委員会など多くの会議や委員会に出席し、学校運営に携わっているとのことでした。

事務分掌については、事務部長は事務の総括として各担当の処理を決済・承認し、収入、支出、給与、旅費、施設・設備などを、職員の経験や業務内容に応じて分担しているとのことでした。私会計は多岐にわたるため分担して業務を行い、不正防止のため事務部長が直接会計業務を担当せず、牽制する立場で確認を行う仕組みになっていることが特徴的でした。

また、総務naviの導入についてもご説明いただきました。県立学校では小中学校と比較して総務naviの利用範囲が広く、給与、旅費、服務関係に加え、履歴書や勤務評定、学校職員表、授業料なども管理でき、さらに、支出収入・備品管理等の会計事務もオンライン決済となり、押印決済が減少したとのことでした。その他、「学校事務チャレンジ制度」（平成26年に制度化。やる気のある職員を優先的に事務部長に登用する制度）については、最近では希望者が減少しており、いわゆるたたき上げ職員存続の危機であるということを知りました。

最後に、香川県公立高等学校事務職員協会についてご紹介いただきました。主な活動内容としては、人材育成研修会の実施、全国大会・四国大会への職員派遣、教育長懇談会、会員交流誌の発行があるそうです。研修はNewFace研修・中堅職員研修・夏季研修・学校徴収金等取扱研修な



ど様々あり、小中学校との合同研修についても、「同じ学校現場で働く者同士、合同で研修ができれば」とお話しくださいました。

今回のご講話で、県立学校のことや小中学校との違いを初めて知り驚くことばかりでした。今後、研修や情報交換を通して交流を深めることで、新たな視点で学び、高めあうことができればと思います。